

市内団体に緑綬褒章 （社会）

車椅子での外出を支援



市長室を訪れた会員

市内の「自由な移動をすすめるハンディキャブの会」(布川保代表・13人)が、平成23年春の叙勲・褒章で緑綬褒章を受章した。

昭和61年から25年、車椅子利用者の外出を支援してきた同団体。障害者の社会参加、社会福祉の発展向上に多大な貢献があったとして評価された。

7月4日には同団体会員が秦野市役所市長応接室を訪れ、古谷義幸市長に受章を報告。布川代表は「大変光栄でうれしく思っています。これを糧に今後も頑張ります」と話した。